



にちりゅうぶじたほうとう  
①日竜峯寺多宝塔

(国重要文化財 武儀字下之保)

日竜峯寺は鎌倉時代、北条政子によって再興されたと伝わっています。多宝塔は下重が方形、上重が円形の塔身をもつ二重塔のことをいいます。この塔は鎌倉時代に建てられ、県内で最も古い建物です。高さは14.7mあり、屋根にはきれいに檜皮が葺かれています。内部には鮮やかな壁画が描かれています。

(建物の内部は非公開です。関市自主運行バス・岐阜バス「高沢観音口」下車、徒歩30分、東海環状自動車道富加関 I.C. より県道58号線を車で20分)

# 関の文化財探訪

その1

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313



もくぞうじゅういちめんかんのんぼさつりゅうぞう  
②木造十一面観音菩薩立像

(関市重要指定文化財 板取字白谷)

美濃では十一面観音菩薩像が白山信仰の本地仏として多く寺社に祀られました。「白谷観音」と親しまれています。六社一観音に数えられ、昔から信仰を集めています。この仏像は高さ64.6cmの小さな仏像ですが、今から約800年前の平安時代後半に造られたものです。手などが江戸時代に修理されていますが、今でも非常に美しい姿をしています。(7年および15年にご開帳。東海北陸自動車道美濃 I.C. より車で30分、板取地域バス「白谷観音前」下車、徒歩5分)

